

|  |                                   |            |           |
|--|-----------------------------------|------------|-----------|
| 科目名  |                                   | 神経内科学特論    |           |
| 科目責任者  | 足立弘明                              | (神経内科学 教授) |           |
| 担当者  | 足立弘明                              | (神経内科学 教授) |           |
| 開講時期:  | 1～2年次                             | 単位数:       | 6 単位      |
|  |                                   | 時間数:       | 90分× 45 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の症候学、病態について理解を深める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 神経軸索輸送の種類、およびその作動原理を概説できる。</li> <li>2) 神経細胞膜に局在する受容体の種類、およびそのシグナル伝達機序を概説できる。</li> <li>3) 神経細胞内小器官の種類、およびその構造を概説できる。</li> <li>4) 神経細胞内小器官の機能、およびその機能を担う分子を概説できる。</li> <li>5) 神経細胞ネットワークの機能的連関を説明できる。</li> <li>6) 神経細胞機能解析における細胞生理学的アプローチの手法を説明できる。</li> <li>7) 神経細胞機能発現に関与する分子の動態を説明できる。</li> <li>8) シナプス情報伝達を概説できる。</li> <li>9) 神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の診察法を概説できる。</li> <li>10) 神経疾患・筋疾患・心療内科疾患の検査法を概説できる。</li> </ol> |                                   |            |           |
| ● 評価方法   | 検討会での討論30%・発表30%・レポート40%等で総合評価する。 |            |           |
| ● 参考文献   | 講義の中で必要に応じ紹介する。                   |            |           |

| 授 業 項 目 (内 容)             |
|---------------------------|
| 神経疾患の症候学                  |
| 筋疾患の症候学                   |
| 心療内科疾患の症候学                |
| 神経細胞機能発現に関与する分子の機能と病態への関与 |
| 神経細胞ネットワークの機能連関           |
| 神経細胞内小器官の種類・構造・機能・分子局在    |
| 分子生物学的アプローチの種類            |
| 細胞生物学的アプローチの手技            |
| 細胞生物学的アプローチの意義と問題点        |
| モデル動物の種類と管理方法             |
| モデル動物の生化学的解析方法            |
| モデル動物の病理学的解析方法            |
| 疾患関連遺伝子の解析方法              |
| 新規治療法開発研究の方法              |
| トランスレーショナルリサーチの実践法        |